

台湾平埔族の 歴史と文化

看見平埔:臺灣平埔族群歷史與文化特展

平埔を見つめる
看見平埔

2013

9/12 [木] - 11/26 [火]

国立民族学博物館 企画展示場A

[開館時間] 10:00~17:00(入館は16:30まで) [休館日] 水曜日

[無料観覧日] 9月14日(土)、9月16日(月・祝)、11月3日(日・祝)、
11月16日(土)、11月17日(日)

[観覧料] 一般420円(350円)、高校・大学生250円(200円)、
小・中学生110円(90円)

◇()は、20名以上の団体料金、大学等*の授業でご利用の方、授業レポート等の
作成を目的とする高校生、3ヶ月以内のリピーター、満65歳以上の方の割引料金
(要証明書等) *大学等は、短大、大学、大学院、専修学校の専門課程

◇障がい者手帳をお持ちの方は、付添者1名とともに無料で観覧できます。

◇毎週土曜日は、小学生・中学生・高校生は無料で観覧できます。ただし、自然文化園
(有料区域)を通行される場合は、同園の入園料が必要です。

主催:国立民族学博物館/国立台湾歴史博物館(台湾)

後援:公益財団法人交流協会/台北駐日経済文化代表処

協力:天理大学附属天理参考館



台湾平埔族の歴史と文化

80年代以降に台湾で進んだ民主化は、政治的な公正さだけでなく、多様な民族が共生する社会をめざすものでした。かつて高砂族^{たかさごぞく}とよばれたオーストロネシア系の先住民、漢族系住人とひとくりにされてきた客家^{はっか}の人たちが民族としての自律性を求め、それが社会の中で認められていきました。早くから漢族の影響を強くうけ、慣習、言語、物質文化が大きく変化していった平埔族の人たちもまた、歴史史料や博物館資料を手がかりに自分たちの歴史を見つめなおし、民族アイデンティティを再興させていきました。本展示会は平埔族の歴史と文化を考え、彼らの主張に台湾社会の人たちが耳を傾ける機会を創った国立台湾歴史博物館の特別展示会を日本で再構成したものです。



平埔を見つめる
看現平埔

みんぱくウィークエンド・サロンー研究者と話そう

10月13日(日) 野林厚志(国立民族学博物館・教授)

[場所] 本館展示場(ナビひろば)

申込不要

[開催時間] 14:30~15:30

要観覧料

みんぱくゼミナール

11月16日(土)「台湾平埔族の歴史と文化」

野林厚志(国立民族学博物館・教授)

[場所] 講堂

申込不要

[開催時間] 13:30~15:00(開場13:00)

参加無料



交通のご案内

* 国立民族学博物館(みんぱく)は大阪・千里の万博記念公園内にあります。
「みんぱく」とは大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立民族学博物館の愛称です。

● 大阪モノレール…「万博記念公園駅」下車徒歩約 15 分

* 自然文化園(有料区域)を通行される場合は、自然文化園各ゲート脇の券売機で当館(国立民族学博物館)の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。

「公園東口駅」下車徒歩約 15 分

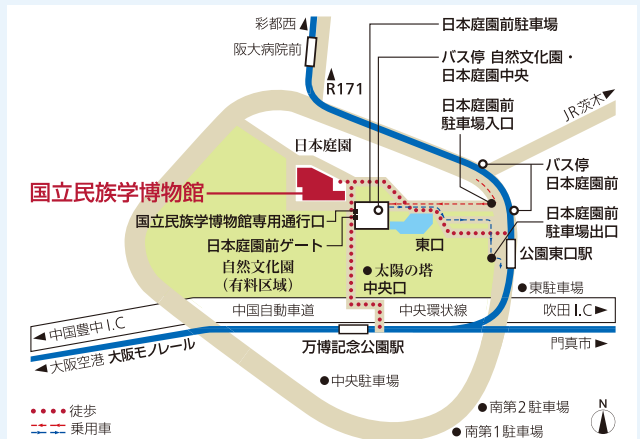
* 「公園東口駅」からは自然文化園(有料区域)を通行せずに来館できます。

● バス……………[近鉄バス](阪大本部行き) 阪急茨木市駅から約 20 分、
JR 茨木駅から約 10 分「日本庭園前」下車、徒歩約 15 分

● タクシー……………万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れることができます。下車、徒歩約 5 分

● 乗用車……………駐車場が無い「みんぱく」への車の乗り入れはできません。
万博記念公園の駐車場(有料)をご利用願います。最寄りの「日本庭園前駐車場」から約 5 分

* 「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある「国立民族学博物館専用通行口」をお通りください。



 国立民族学博物館

● お問い合わせ
国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10 番 1 号
Tel:06-6876-2151(代)
ホームページ <http://www.minpaku.ac.jp/>
公式 Facebook <http://www.facebook.com/MINPAKU.official>

みんぱく
携帯サイト

